



令和4年2月24日  
万田小学校 保健室  
(No. 9)

2月は「にげる月」と言われますが、あっという間に3月が近づこうとしています。  
新型コロナウイルス感染症「オミクロン株」は感染力が大変強いと言われていますが、1月下旬から万田小学校でも感染者が多数出ました。みなさんも心配したかと思いますが、現在の本校の感染状況は落ち着いていますが、荒尾市の1日の感染者はまだ多いです。東京では「ステルスオミクロン株」の市中感染の発生報告が先日ありました。「オミクロン株」よりもさらに感染力が強いという話がありますので、今後、熊本県でも発生し流行するかもしれません。気をゆるめずに感染予防対策をしましょう。



マスクは、はなと口をおおう。



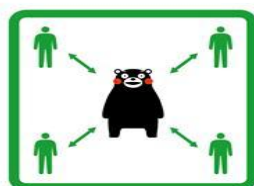
外から帰ったら石けんで手をあらひ、ハンカチ(タオル)でふく。



アルコールしょうどくをする。



つねに、へやのかん気をする。



くっつかないモン  
#KeepDistance

キープディスタンスをとる。

自分の平熱を知っておきましょう



とうこうび 登校日は、たいおん 体温をはかり きにゅう 記入する。



せいかつしゅう 生活リズムを整える。



ねつ 熱など たいちょう 体調が悪い時は、やすむ。

## 2月は、性に関する指導月間です



### 【保護者の方へ】

本校では、「体のしくみ」「生命誕生と命のつながり」「男女の理解と協力」「情報の選択」「エイズについて」など、子供たちの発達段階にあった授業を行っています。その中で、2月を「性に関する指導月間」として各学年で重点的に取り組んでいます。指導内容は次のとおりです。

1年	・からだをきれいに	・さそいにのらない
2年	・わたしたちの体(女の子・男の子)	・私たちのたんじょう
3年	・いのちのつながり	・自分らしさってなに?
4年	・育ちゆく体とわたし	・からだを守る仕組み
5年	・生命誕生	・情報と私たち
6年	・成長する心と体	・病気の予防(エイズについて)

### 性の多様性について正しく理解しましょう。



自分の周りにはいないと思っていませんか?

男性であれば女性を、女性であれば男性をというふうに、恋愛の対象として好きになるのが異性であることを多くの人が当然のように感じていると思います。

しかし、実際には同性を好きになる人もいれば、異性も同性も好きになる人や、いずれも好きにならない人も存在します。また、自分自身をもって生まれた「身体の性」と自分自身が認識する「心の性」が一致していないような感覚や違和感を抱きながら日々の生活を送っている人も存在します。このようなセクシャルマイノリティ(性的少数者)の代表的な呼称として「LGBT」「LGBTQ」という言葉が使われることが多いです。

ただし、ここで忘れてはいけないのが「マイノリティ(少数派)」だから「間違っている」「特別」ということではない、ということです。

セクシャルマイノリティの人は20人に1人いると言われています。もしかしたら身近にいるかもしれませんし、これから先セクシュアリティ\*に向き合い、じっくり考える時がくるかもしれません。今、向き合っている人もいるかもしれません。

人はみんな同じではなく、少しずつのちがいをいくつももっています。多数派でないこと、みんなと違うことは、おかしいことではありません。そのちがいが個性につながり、世の中を豊かにしてくれます。

本校職員も、性の多様性について研修等で学んでいます。一人一人の子供を大切に、子供同士が大切ななかまとしてつながりあえるように、しっかり見守っていきます。

\*「身体の性」だけでなく、その人自身の性のあり方のこと。「心の性」、「好きになる人の性」、「性別表現(性役割)」があります。

引用:「LGBTQを知っていますか?みんなと違うはヘンじゃない」著 星野慎二